

令和7年度 認定こども園ほしおきガーデン星の子幼稚園 学校関係者評価

1. はじめに

本報告書は、令和7年度の教育理念および教育目標に基づき、全職員による自己評価と保護者アンケートの結果を統合したものです。当園の強みと課題を明確にし、次年度の保育の質向上に向けた具体的な展望を共有することを目的としています。

2. 重点目標に対する評価と現状

重点目標	評価と現状	課題および改善点
① 安全な保育を目指す	全職員が安全確保を最優先し、環境整備や交通ルール指導を徹底。多くの先生に見守られている安心感があるとの評価を得ています。	アレルギー対応食の誤食や、認識不足による怪我が発生。園児が一人で帰宅した事案を受け、玄関や園庭の死角、柵の安全対策強化が急務です。
② 0歳児から5歳児までの交流	誕生会等の行事を通じ、年長児の思いやりや責任感が育っています。保護者からも「縦の繋がり」が好意的に捉えられています。	物理的な「クラスの壁」により日常的な交流が阻害される傾向にあります。また、クラス間の園外保育(遠足)の回数の差による不平等感が指摘されています。
③ 近未来の環境への土台作り	資源の再利用やゴミ拾い、答えを教えすぎず自ら考えさせる関わりを実践。ワイルドな園庭環境での主体的な遊びが評価されています。	目標の抽象度が高く、職員間で理解や実践に差があります。研修を通じて、園全体で具体的な実践方法の共通理解を深める必要があります。
④ 子どもの権利について考える	子どもを支配の対象とせず、一人の人間として尊重する意識が浸透。丁寧な言葉掛けやプライバシーへの配慮が定着しています。	「意思の尊重」と「集団生活の教育的必要性」のバランスに苦慮しています。苦手な給食を無理に食べさせられたことによる登園渋りの訴えもあり、指導のあり方を再検討します。

3. 保護者アンケートからの主な意見・要望

- 肯定的な評価: のびのびとした教育方針が良い、園庭環境が素晴らしいといった声が多く寄せられていました。
- 改善要望: 連絡帳アプリの使いづらさ(情報の一元化希望)、預かり保育時の所在確認の明確化、YouTube視聴時間の短縮、駐車場や行事(発表会等)のルール徹底などの考慮が必要です。

4. 総合評価と次年度への展望

今年度は子どもの主体性を尊重する保育に成果が見られた一方、「行事中心の計画による職員の余裕のなさ」や「情報共有の不足」といった意見がありました。改善策として

1. 対話の制度化: 学年横断カンファレンスを設定し、チーム保育の質を高める。
2. 行事計画の精査: 主体的な遊びと「丁寧な暮らし」を保障するため、行事の見直し。
3. システムと安全の強化: 連絡用ツールの向上と、多層的なリスク管理体制の再構築による事故防止の徹底。